

うみなり



令和4年度 六ヶ所村立第一中学校 学校だより

令和4年7月21日（木）発行 第11号 文責 藤川 俊彦

「**いきる**」を大切に!! ~明日から33日間の夏休みです!~

7月21日（木）に1学期の終業式が行われ、以下のようなお話をしました。

「とても頑張った71日間の1学期が終わり、明日から33日間の夏休みに入ります。夏休みに向けて、私から三つのことをお話します。「いきる」と覚えて下さい。

『い』は『命を大切に』です。水難事故、熱中症や新型コロナ第7波への対応等への注意はもとより、自分の心のケアも意識してみましよう。悩みごとがある人はできるだけ信頼できる大人や友達に相談してみてください。相談はネットではなく、なるべくリアルでお話しできればいいですね。私（校長）にも相談できますよ! 学校HPの一番下のポストの絵をクリックすれば、校長室PC直通アドレスに送信できます。聞いてほしいことがある人はいつでもどうぞ! 必ず返信します。(ただし、出張や休暇の関係で返信が遅くなることもありますm(_ _)m)

『き』は『鍛える』です。2学期に向けてしっかりと鍛えて下さい。鍛える場所として一番大切なのは『こころ』です。次に『からだ』、最後に『あたま』です。そしてこの三つを一緒に鍛える方法が『読書』と『運動』です。逆に怠（なまけ）け心を増長させるのがディスプレイ（テレビ、ゲーム、スマホ、タブレット、PC）を見続けることです。『読書・運動』>『ディスプレイ』ディスプレイに負けない夏休みの日々が鍛錬（たんれん）につながります。

『る』は『ルールを守る』です。一番大切なのは自分で決めたルールを守る事です。夏休み前に自分で目標や計画を立てたと思います。それをしっかり守りましょう。自分との約束を守ることは、自分を好きになること・自信につながります。その他にも、お家や社会のルールをしっかりと守りましょう。『ならぬことは、ならぬものです』（会津藩什（じゅう）の掟（おきて）より）

33日間の夏休みを、安全で楽しく充実した日々にし、2学期の始業式でみなさんの元気な顔を見せて下さい!!

いきる

命を大切に

- ・水難事故
- ・熱中症、新型コロナ
- ・悩んだらまず相談
- ・心を鍛える
- ・体を鍛える
- ・頭を鍛える
- ・自分のルール
- ・家庭のルール
- ・社会のルール

ご意見・ご感想

ご意見・ご感想はこちらかう



「非行防止標語」受賞者に金・銀・銅を授与!



7月12日（火）の生徒朝会で生活環境委員会主催「非行防止意識向上キャンペーン標語コンクール」の受賞者を表彰しました。



☆金賞「一瞬の 緩（ゆる）みが人生 狂わせる」萩生咲絢（3年A組）

☆銀賞「非行はね 自分の心も 傷つける」 井上奈菜（3年A組）
「NOと言う 勇気が君を 守り抜く」 大竹歩実（3年A組）

☆銅賞「万引きを 止める君こそ ヒーローだ」 菊地ここね（3年A組）
「酒タバコ 一度ハマれば 抜け出せない」 本間万梨花（2年A組）
「背徳感（はいとくかん） ひたるあなたの 罪悪感（ざいあくかん）」 沼辺奏楽（1年A組）

全校生徒の標語を読みましたが、みなさんの標語のレベルがとっても高く、審査がものすごく大変でした。最終的には「私が夏休み中、みんなに守ってほしい事を言葉で紡（つむ）いでいる」作品に金銀銅を付けました。夏休み中、何かに迷った時は、今回の標語を思い出し、正しい判断をして、楽しい夏休みにしましょう。



8月

行事予定

8月 5日（金） 1年生出校日（8:00or9:10~）
2年生出校日（9:15~）
8月13日（土） ~学校閉庁日（15日:月まで）
8月16日（火） 3年出校日（9:10~）
8月18日（木） 教職員会議日・研修日（部休日）
8月21日（日） ~23日（火） 部休日
8月24日（水） 2学期始業式・定着テスト（全校）（部活あり）
8月25日（木） ⑤全校道徳（田名部高校相内さん出前授業）（部休日）
8月26日（金） 東京学芸大附属中との交流会、FT（NO.9）
8月27日（土） 村漢字検定①（スワニー）
8月30日（火） 生徒朝会（ジャージ登校の日）
8月31日（水） ⑤全校体育（タヒチアンダンス出前授業）（部休日）
県学力学習状況調査（2年生）（部活あり）

※全ての行事は、今後の校内や地域・県内の新型コロナウイルス感染状況によっては、延期や中止もあります。

上久保煌清くん県中体連水泳400m自由形6位入賞!!



7月17日（日）18日（月:祝日）の両日、青森県総合運動公園プール（青森市）で行われた第73回青森県中学校体育大会夏季大会水泳競技男子400m自由形で上久保煌清くん（3年A組）が6位に入賞しました。



残念ながら東北大会出場は逃しましたが、県大会で6位は本人にとって最高順位となったようです。日頃の努力が結果に表れました。おめでとうございます。



また、魚崎紋誠くん、鳥谷部柚希くん、越善ライチさんも水泳競技で頑張りました。陸上競技でも、中村和真くん、豊巻日向くん、高田杏音さんが頑張りました。これで中体連の大会は一区切りになります。次の目標に向けてfight!!



「情報モラル教室」でネットトラブルの知識を学ば!

7月20日（水）4校時、青森県警察本部 STEPS の方に来ていただき、「情報モラル教室」を行いました。

今回は「ネットトラブルの知識を高め、『トラブルを起こさない』『トラブルに巻き込まれない』ための行動を自分なりに考え、実践できる」ことを目標に実施しました。本校でもネットによるトラブルは毎年起きています。夏休みを前に、とても良い勉強になったと思います。



つぶやき



7月14日（木）の東奥日報のスポーツ欄に大きく「佐藤（六ヶ所出身）夢のプロへ」という見出しがあり、もしや本校に関わりがあるのでは?と思い本校最年長勤務のふたりの先生（さて、誰でしょうか?）に聞いた所、「知っていますよ! 豪皇（こお）くんは2年生の1学期の終わりにサッカーの関係で八戸市に転校したんですよ! プロ選手になるんですね! すごくですね!」とのこと。やっぱり本校に関わりがあるんだと確信し、UAE（アラブ首長国連邦）に戻る前にお会いしたいなあ、と豪皇さんを知っている先生からご自宅の場所を聞いて、アポなし訪問を決行。突然の訪問にもご本人とお父様が応対してくれました。明日 UAEへ出発するとのことで、本校への訪問は叶いませんでしたが、後日お父様（佐藤栄寿さん）より豪皇さんの経歴と一緒に「一中の在校生のみなさんへ」と「私たち親子が取り組んできたこと。心掛けてきたこと」というメッセージを頂きましたので、裏面に掲載させていただきます。



東奥日報R4年7月14日掲載: 東奥日報社提供。この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです

第一中学校の在校生の皆さんへ

佐藤 豪皇（こお）の父です。

既に新聞でご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、地域の方々をはじめ多くの方々の応援のおかげもあって、この度、所属しているチームとプロ契約を結びトップチームへ昇格することが決まり、小さいころからの大きな夢の一つである「プロになる」という夢を叶えることができました。

第一中学校には2学年の一学期まで在籍しており、そのご縁もあって、在校生の皆さんへ「第一中学校の在校生の皆さんに伝えたいこと」と「これまで私たち親子が取り組んできたこと・心掛けてきたこと」と題したメッセージを紹介させていただく機会をいただきました。大変恐縮ではございますが、皆さんのこれからの学校生活や今後の将来に少しでもお役にたてればと思います。

佐藤 栄寿

第一中学校の在校生の皆さんに伝えたいこと。

- ・たった一度きりの人生です。どんなに小さいことでもいいので何かしらの夢を持ち「夢は必ず叶う」と自分の可能性を信じて夢中になりましょう。皆さんの可能性は無限大(∞)です。
- ・どんな事でも最初から完璧にできる人間はいません。チャレンジと失敗を繰り返すことによって小さな成功につながり、その小さな成功体験を積み重ねることによって、やがては大きな成功につながります。
- ・何事もやる前から「どうせ無理」や「できるはずがない」と決めつけてはいけません。やる前からできないというマイナス思考は成功の邪魔をしてしまいます。自分の可能性を信じて「いつか必ずできるようになる」または「やればできる」と信じてまずはやってみましょう。プラス思考は成功への第一歩です。
- ・成功の反対は失敗ではありません。成功の反対はチャレンジしないこと。何事もチャレンジしなければ成功もしないし失敗もしません。成功をつかむためには失敗を恐れずにチャレンジし続けることが重要です。
- ・自分の夢を叶えるのは自分自身であり、友達・両親・先生達ではありません。皆さんの人生を決めるのは自分自身です。人生における大きな決断(進路等)は皆さん自身が自分の責任で決断しましょう。
- ・周りのみんなと一緒にある必要はありません。皆さん一人一人と周りにいる他の人との違いは皆さん一人一人が持って生まれた個性です。その個性を伸ばすことにより、社会に出た時に皆さんにとっての大きな武器となり財産となります。
- ・目の前にあるチャンスは二度と巡ってきません。なぜなら、目の前にあるチャンスを自分が掴まなければ、別な人がすぐに掴んでしまうからです。チャンスをチャンスと気付けるようになるためにいろいろな経験をしましょう。
- ・自ら決断し、行動することによって道を切り拓きましょう。夢を叶えるために皆さんの周りにある常識を常識と思わない気持ちが大事です。常識を超えることによって価値観と視野が広がります。
- ・何事も楽しむためには、「やらされる」のではなく「自らの意志で進んでやる」ことが重要です。
- ・困った時の魔法の言葉「まあ、いいか」・「なんとかなるさ」・「なるようにしかならない」を覚えておいてください。
日本という国に生まれた時点で殆どの方が恵まれた環境にあるため、大抵の事は何とかできます。困った時にこの言葉を呪文のように心の中で唱えるだけで、気持ちがかかり楽になりますし、少しでも前に進むためのきっかけとなる言葉だと思っています。



これまで私たち親子が取り組んできたこと・心掛けてきたこと。

- ・大きな到達目標の一つであるプロになるために、目の前の試合の勝ち負けや試合で結果を出すことにこだわることは重要であるが、成績や順位・試合に出た出ない・選抜に選ばれた選ばれない等で一喜一憂しないこと。
(〇〇大会で優勝した・〇〇選抜に選ばれたというのは過去の栄光であり、だからといって必ずプロになれる訳ではない)
- ・自らが掲げた大きな目標を達成するために必要となる細かい到達目標を設定すること。
(いつまでにこれができるようになる・〇〇歳でこのチームでプレーしている・〇〇歳で何処で何をしている等)
- ・それぞれのタイミングで自分の現在地を確認するために、厳しい環境に身を置き、沢山のチャレンジをすること。
(所属チームとは離れ、プロサッカーチームが主催するキャンプやクリニック等へ参加し、上には上がいるということを知る)
- ・所属チームの監督やコーチの指導が全てではない。指導者が10人いれば10通りの指導方法があるため、機会を見つけて多くの指導者の指導を受けると同時に多くの選手たちと交流を深めること。(技術力の向上とコミュニケーション能力の向上を目指す)
- ・いずれ来る「引退」の時に後悔しないように、日々の練習を全力で取り組むこと。(引退するときに自身がやりきったと思えるように)
- ・「どうせ無理」や「できるはずがない」ではなく、「最初はできなくてもいつか必ずできるようになる」や「やればできる」という思考を持つこと。
- ・「夢は必ず叶う」と自分の可能性を信じて毎日夢を見続けること。そして夢を叶えるための努力を怠らないこと。
- ・一つ一つのプレーを言語化できるようにすること。(自らの考えや判断の正当性をチームメイトや指導者に説明できるように)
- ・皆と一緒にある必要はない。決して違いを恐れないこと。多くの経験によって皆の常識が非常識であると思えるような視野を広げると同時に自分自身の判断基準・価値観を養うこと。
- ・夢の実現のために親としてできるだけ多くのチャンスを与えるが、結果として夢を掴むのは自分自身であり、よくも悪くも結果の全ては自己責任である。
- ・「親」という字は木の上に立って見ると書きます。親の価値観や経験値で細かいことをごちゃごちゃいうのではなく、見守ることが大事である。親ができないことはできる人(指導者等)に任せること。
- ・「プロになる」という夢を実現するため、試合で結果を出せるように多くの実践経験を積むことが重要である。安易に強豪チームや強豪校を選択する必要はない。その時その時の自分のレベル・力量に見合ったチーム選びをすること。
また、実際にプロになった人から自らの経験やスキルを学ぶことが一番の最短ルートであるという発想の転換。
- ・親のメンタルが弱ければ自ずと子のメンタルも弱くなるため、親として周りに影響を受けない・周りの意見に左右されない思考を持ち、子供と適度な距離感を保ち見守ることが重要である。
- ・自信を持たせるために、「サッカーはミスのスポーツである」という認識を持たせミスを許容することで、本番で成功させるために失敗を恐れずにチャレンジすることの重要性を気づかせる。
- ・夢の実現のためには多くのことを犠牲にしなければならない。常に謙虚さを忘れず、日頃から応援してくださる全ての人々に対して感謝の気持ちを忘れないこと。